

I <報 告> 「2022 年度啓発担当者のための人権講座」

10月3日(月)福岡市中央市民センターホールを会場に「啓発担当者のための人権講座」を開催しました。内容は、①川口泰司さん(一般社団法人山口県人権啓発センター事務局長)から「ネット人権侵害と部落差別の現実」についての講演、②福岡県人権・同和対策局調整課から「福岡県におけるインターネットモニタリングの実施状況について」報告してもらいました。会場には、70名を超える参加がありました。また、47名のWeb参加の申込がありました。アンケートを紹介します。

【講演について】

- 情報を受け取る時代から誰もが情報を発信できる時代になり、先入観や偏見を持ったまま、デマやフェイクニュースを信じ正義感や義憤、善意による拡散の怖さを知ることができた。
- 川口さんの熱、差別ハガキで受けた苦しみ。そして未来の日本を支える娘さへんへの思い。やはり、この場に来て生で話をお聞きすることができてよかった。「正しく起こす」にはどうすればいいのか、差別は差別する側の問題であり、差別をなくすためにどうすればいいのか、なくす当事者になりたいと強く思った。リアリティのある学びを教育できる人になっていきたい。
- 若者への同和教育の必要性を感じた。社外研修の受講や私が参加する会に同行する様にしたいと思った。

【報告について】

○県におけるモニタリングの具体的な対策・対応について、その取り組みを知ることができ勉強になった。2016年に「部落差別の解消の推進に関する法律」が施行されて6年が経つが、インターネット上ではこのようなやりとりが今もなおされているという事実には悲しいものを覚えた。差別をなくす、モニタリングの取り組みというものは重要だと感じ、同時に教育を通じて正しい知識を持っていくことの重要性を再認識した。

○誰でもモニタリングにとりかかっています。まだまだ、とても不十分ですが、可能な取り組みをしつつ、より組織的にできるシステムづくりを訴えていきたい。

○県のモニタリングの実態がわかり、ありがとうございました。県内のもっと多くの自治体のモニタリングが必要だと感じた。

【今回の「人権講座」を受講しての新たな知見について】

○マジョリティが動くことの重要性がわかった。傷ついた当事者ではなく多数側で傷ついていない者が動くこと、その例としてスポーツ選手の動きを挙げてもらうことで理解できた。モニタリングについてこのような対応が行われていることを初めて知った。

○人権侵害・差別のない企業風土を構築し、全従業員、働きやすい職場環境づくりをめざしていきたい。

II お知らせ

(1)新刊紹介 『2020/21 年度 史・資料プロジェクト報告集「身分」を考える』

部落史研究部会/史・資料プロジェクトから、報告集が刊行されました。A4版・104ページ。学習会の資料などに利用できます。1000円(会員割引あり)。

(2) ハートフルフェスタ福岡

ハートフルフェスタ 2022 に当研究所のブースを出展予定です（10月23日（日）ゼファ会場のみ）。テーマは「木村かよ子のスケッチブック」です。詳細は下記の URL から。

→https://www.city.fukuoka.lg.jp/shimin/jinkenkeihatsu/heartfulfestafukuoka_2022.html

(3) 啓発部会

日時：10月23日（日）14:00～

会場：田川地区人権センター

(4) ふれあいフェスタ 2022/第15回北九州市障害者芸術祭

日時：11月20日（日）11:00～16:30 ☆当研究所も出展予定です。

会場：ウェルとばた（北九州市戸畑区汐井町1番6号（JR戸畑駅前））

(5) 外国人部会

日時：11月26日（土）14:00～

会場：若松生涯学習センター

(6) 部落解放・人権確立第41回全九州研究集会

日時：2022年11月29日（火）13:00～30日（水）16:00

会場：北九州市西日本展示場、他

参加費：4000円 **参加希望の方は当研究所まで連絡ください。**

(7) 第2回部落問題部会研修会

日時：2022年12月3日（土）午後開催

会場：田川労働福祉文化館 *内容検討中

(8) 海外人権スタディツアー企画部会 in 沖縄（2023年1月4日～6日）**事前学習会**

日時：2022年12月4日（日）14:00～17:00

会場：ヒューマンアルカディア研究室

< *各部会・講座の開催等の詳細については、ホームページをご覧ください。 >

ホームページ <https://www.f-jinken.com/>

email info@f-jinken.com（登録解除はこちらへ）

〔人権研究所の本〕

新谷恭明『校則なんて大嫌い！ー学校文化史のおきみやげー』

久米祐子『子どもから障害児を「分けない教育」の戦後史インクルーシブ教育とはー』

木村政伸『教室の灯は希望の灯 自主夜間中学「福岡・よみかき教室」の二五年 』

関 儀久『感染症と部落問題 近代都市のコレラ体験』

森山沾一・和智俊幸・横田司・坂田美帆

『殉義の星と輝かん～百年生きる「解放歌」と柴田啓蔵』

☆お求めは⇒<https://books-f-jinken.raku-uru.jp/>

ニュース担当：峰

☆ニュースのバックナンバーは下記研究所公式サイトをご覧ください。

<http://www.f-jinken.com/newsiberacion.html>